

アジア開発銀行が発行する「ブルーボンド」への投資について ～アジア・太平洋地域における海洋環境の改善に向けた資金供給～



明治安田生命保険相互会社（執行役社長 永島 英器、以下「当社」）は、アジア開発銀行（以下「ADB」）が発行する「ブルーボンド」に165億円を投資しましたので、お知らせします。ブルーボンドは資金使途を海洋環境の改善に関連するプロジェクトに限定して発行される債券であり、本件はADBにとって初めてのブルーボンド発行となります。

ADBは、2019年5月に「海洋保全と持続可能なブルーエコノミーのための行動計画」を公表しました。本計画は、SDGs目標「14 海の豊かさを守ろう」の達成に向けて、沿岸と海洋の生態系や主要な河川の保護・浄化、プラスチック、廃水など海洋に流れ込む汚染物質の削減、持続可能な漁業、養殖業、観光、海洋再生可能エネルギー、港湾、海運などのブルー経済の成長の3つのプログラムに焦点を当てています。ADBは協調融資を含め、2019年から2024年の間に海洋環境への投融資・技術支援を50億ドル規模まで拡大することを約束しています。

本債券によって調達された資金は、上記計画に即した海洋生態系の保全・回復やブルー経済の持続可能な発展を支援するADBの取組みに供給されます。当社は本債券への投資を通じ、アジア・太平洋地域における海洋環境の改善に向けたADBの取組みを資金面からサポートします。

当社は、「ESG投融資方針」^(注)に則り、資産運用業務においては、国連責任投資原則（PRI）への署名などを通じて、ESGの観点を通じた意思決定に組み込むことを推進しています。引き続き、ESG投融資を通じて、持続可能な社会の実現に貢献する資産運用を行なってまいります。

【本債券の概要】

発行体	アジア開発銀行（S&P 格付：AAA、Moody's 格付：Aaa）
発行額	合計約330億円（217百万ニュージーランドドル、208百万オーストラリアドル）
購入額	約165億円（217百万ニュージーランドドル）
償還期間	10年
対応するSDGs目標	 

(注)2020年5月22日付ニュースリリース「ESG投融資方針の公表について」

https://www.meijiyasuda.co.jp/profile/news/release/2020/pdf/20200522_05.pdf

[参考] ADBが取り組むプロジェクト事例「アジア諸国におけるプラスチックリサイクルの促進」
インド、インドネシア、フィリピン、タイにおいて廃プラスチック再生処理施設の能力を高めることにより、海洋に流出されることになりかねないプラスチックごみの回収と再生処理に取り組んでいます。

- ・使用済みPETやポリエステル廃棄物を原材料として使用
- ・廃プラスチック再生処理施設における雇用創出

